

<p>【イベント名】 第2回 ロボット手術テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 福岡市は臨床特区に指定されており、その中の臨床教授制度を利用し、ロボット膵切除の世界的権威である米国ピッツバーグ大学・Herbert J. Zeh III 教授を招聘し、九州大学病院でのロボット支援膵体尾部切除術（本邦では保険未収載）の執刀と、引き続き低侵襲膵切除の最新の知見についての講演をしていただいた。講演会は和歌山医大、タイ、フィリピンの大学病院とも接続して行われたが、まだ世界でも数少ない手術のため注目度が高く、活発な討議が行われた。</p>
<p>【期日】 2016.08.08</p>	
<p>【会場】 ホテル日航福岡（日本）、 和歌山県立医科大学（日本）、 マヒドン大学シリラ病院（タイ）、 セントルークス医療センター（フィリピン）</p>	

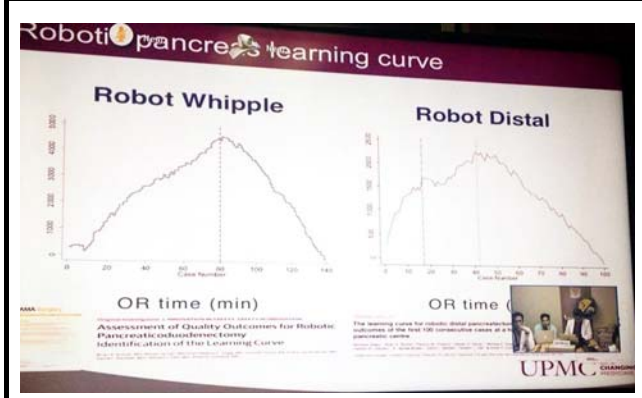


招待講演を行うDr. Herbert J. Zeh III。

モニターに映し出される4地点、左は和歌山県立医科大学。

撮影場所：ホテル日航福岡

撮影場所：ホテル日航福岡

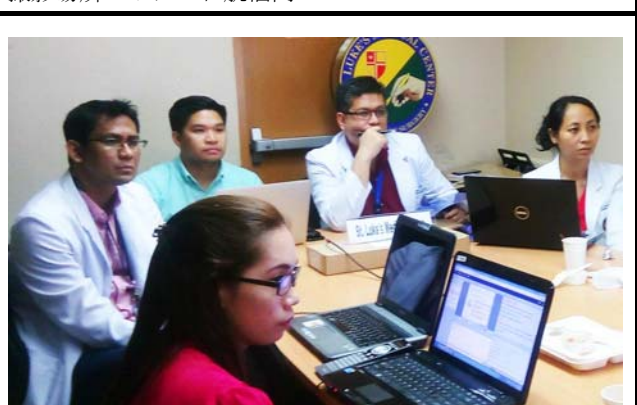
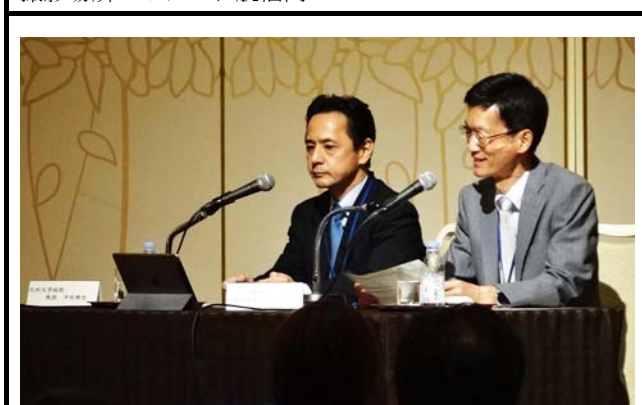


提示されたスライド。

ホテル日航福岡での会場の様子。

撮影場所：ホテル日航福岡

撮影場所：ホテル日航福岡



座長を務めるDr. 中村（左）と副座長のDr. 清水（右）。

セントルークス医療センターでの会場の様子。

撮影場所：ホテル日航福岡

撮影場所：セントルークス医療センター